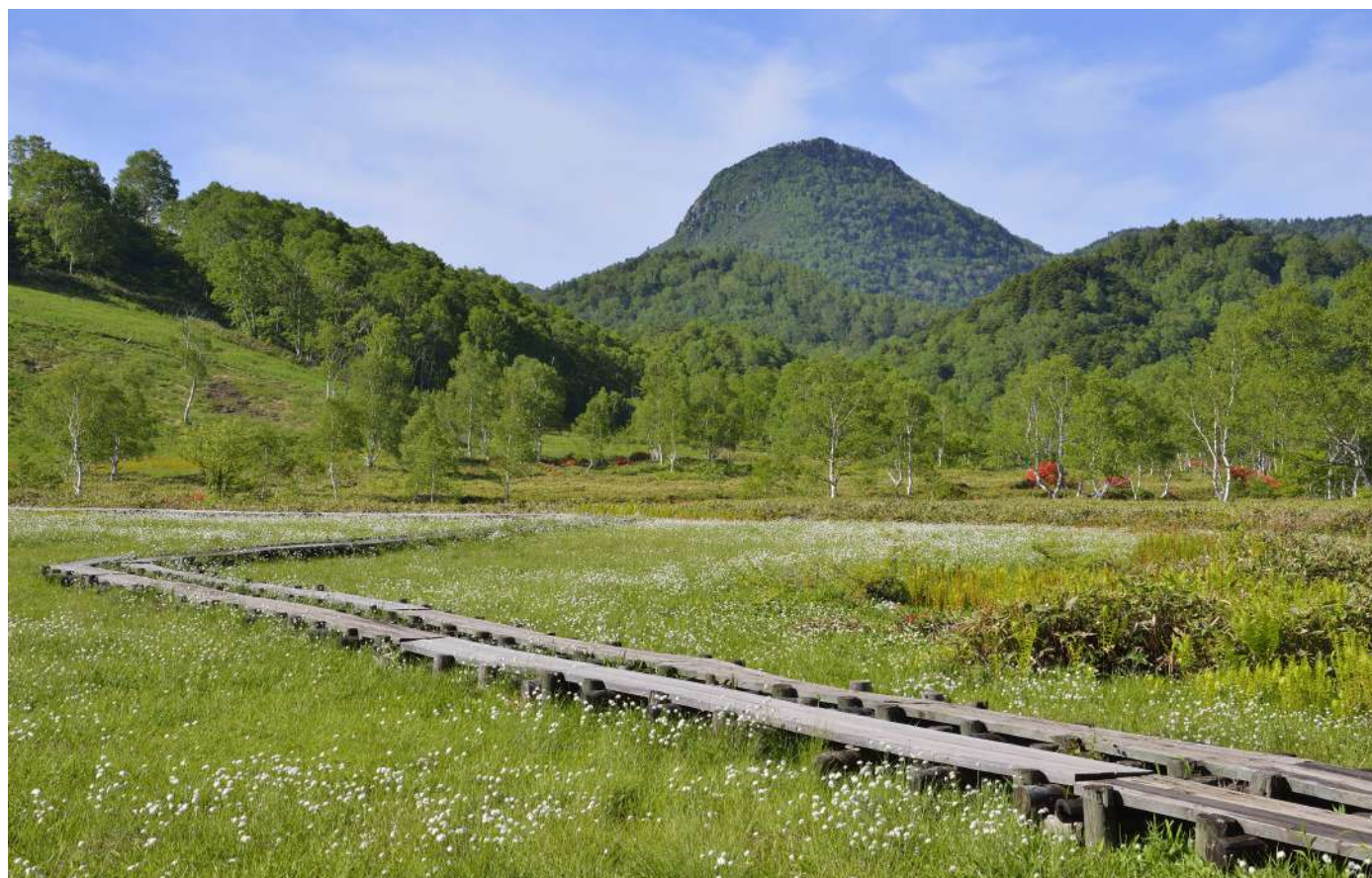


田ノ原湿原 たのはらしつげん

県指定天然記念物



指定 / 1973年（昭和48年）3月12日

面積 / 約7.9ha

所在 / 志賀高原

田ノ原湿原は、志賀高原の木戸池近く標高1610mに位置し、志賀山火山の溶岩が角間川を堰き止めてできた湖（旧志賀湖）の底にミズゴケが積もってできた高層湿原です。

ワタスゲの群生地としても知られています。6月に小さな花を咲かせた後、7月上旬頃には球体状の綿穂を付け、白い綿毛が風にそよぐ風景がみられます。また、湿原一帯ではヒメシャクナゲやレンゲツツジ、ニッコウキスゲ、モウセンゴケといった豊富な高山植物を観察することができます。

松代藩士 佐久間象山（1811-1864）がかつてこの地を訪れ、寒冷積雪地稲作の研究として田植えを試みたことが“田の原”という名前の由来であると言い伝えられています。

